

目指す児童像

人の気持ちを
思いやれる子
進んで考え
行動できる子
自分を
大切にできる子

海道小だより

第4号

令和5年7月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 小栗 克樹
学校のホームページも是非ご覧ください。(随時更新中)



うだるような暑さと滝のような雨…。極端な天気が続いています。あまりの暑さに外遊びや体育、プールを中止せざるを得ない日が続出しました。暑すぎてプールに入れないことなど、私たちが子どもの頃には考えられませんでした。気候が確実に変化していることを感じるとともに、子どもたちのために少しでもよい環境を残すにはどうしたらよいかと考えずにはいられない今日このごろです。



持続可能な社会の実現を目指して～海道小SDGsウィーク～



持続可能な社会の実現は人類共通の課題であり、願いです。そこで、小学生のうちから関心をもってもらおうと、社会科主任と図書館司書が共同で「海道小SDGsウィーク(10～14日)」を企画・実施しました。期間中は図書室にSDGs関連の本が集められた特設コーナーが設置され、ぬり絵やクイズも楽しめたほか、昼休みには体育館で「SDGsかるた」を行うなど、子どもたちは楽しみながらSDGsに関連する様々な取組についての理解を深めていました。



よりよい授業を目指して～校内授業研究会～

海道小学校の児童は、一人一人は自分の考えをもつことはできるのですが、それをみんなの前で発表したり、友達と意見を交換したりすることが少し苦手です。そこで、今年度の学校の研究課題を「自ら学び、伝え、高め合える児童の育成」とし、「対話的な学びを通して思考を深める授業」を目指して、授業の工夫・改善に取り組んでいます。

14日(金)は第1回の校内授業研究会でした。宇都宮市教育委員会から指導者を招き、2年生と5年生が研究授業を行いました。

2年生は図画工作科の授業でした。子どもたちが想像を膨らませて描いた「びっくり野菜」を紹介し合う内容で、互いに質問し合ったり、発想のよさを認め合ったりしていました。

5年生は社会科の授業でした。長崎県で漁獲量が多い理由を調べて、分かったことをグループで出し合い、その結果をもとに、一人一人が言葉でまとめていました。

子どもたちが下校してから授業研究会を行いました。職員が2グループに分かれ、授業中の子どもたちの発言や記述の様子から、よかった点や改善点などを話し合い、最後に指導・助言をいただきました。

これからも、子どもたちが友達と話し合ったり協力し合ったりすることの良さを感じながら、自分の見方を広げたり、考えを深めたりできるような授業を目指して、工夫・改善していきます。校内授業研究会は、今年度、あと3回行います。



校外学習に行ってきました



←3年生は社会科の学習で大谷、県庁などを見学してきました。(13日)
→5年生は総合の学習で日光の世界遺産を見学してきました。(19日)



もうすぐ夏休み～お子様の睡眠、足りていますか？～

米国睡眠医学会によると、6～12歳に必要な睡眠時間は9～12時間とのことです。では、睡眠が不足するとどうなるか。2014年の文部科学省の調査によると、小学生で「自分のことが好き」と答える子の割合は、就寝する時間帯が遅くなるほど低くなる傾向が見られたとのことです。一方、「なんでもないのでイライラする」ことが「よくある」という子の割合は高くなる傾向が見られたとのことです。

十分な睡眠時間を確保して、子どもたちが前向きな気持ちで生活できる環境を整えてあげたいですね。



通知表に記載する内容について～今年度からの変更点～

道徳科、総合的な学習の時間、外国語活動につきましては、授業時数が少ないことや、学期をまたぐ学習内容があることなどから、今年度からは、年間を通じて身に付いた力や態度などを2学期の通知表にまとめて記載させていただきます。



体罰のない明るく風通しのよい学校を目指して～相談を受け付けます～

宇都宮市では、市と学校が一体となり、体罰根絶の取組を進めており、本校でも、「力に頼らない指導」、
「人権に配慮した指導」の徹底を図っております。

教職員の指導に関して、ご心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。随時ご相談に応じます。また、以下の日程で電話相談日を設けております。窓口は校長、副校長です。直接お電話ください。ご希望があれば面談もいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○電話番号 : 028(661)6620

○相談日時 : 令和5年7月26日(水)、27日(木) いずれも9:00～12:00



☆お願い☆できるだけ「そおっと」走ってください

毎度申しわけありません。駐車場のお話です。校庭に自動車が入ると轍(わだち)ができます。ある程度期間を置くと回復するのですが、連続して使用すると回復できず、今の仮設駐車場のよう「でこぼこ」の状態になります。特に今年度は、雷雨のお迎えを3回もお願いしたため校庭の傷みが激しく、このままでは児童の活動に影響が出てしまうため、極力、校庭に自動車を入れないようにしています。

24日からの個人懇談では校庭を開放します。また、仮設駐車場も、やがては子どもたちの運動場に戻ります。お急ぎのところとは思いますが、「子どもたちが安全に運動したり遊んだりするため」とお考えいただき、急なアクセル・ブレーキ・ハンドル操作は避け、「地面に優しい運転」にご協力ください。

なお、門前への横付け、門から駐車場までの通路上での乗り降りや方向転換、通路上に駐車しての子どもの家へお迎えなどは、危険でもあり、他の方の通行の妨げにもなりますのでご遠慮ください。